

# 神奈川県教育史

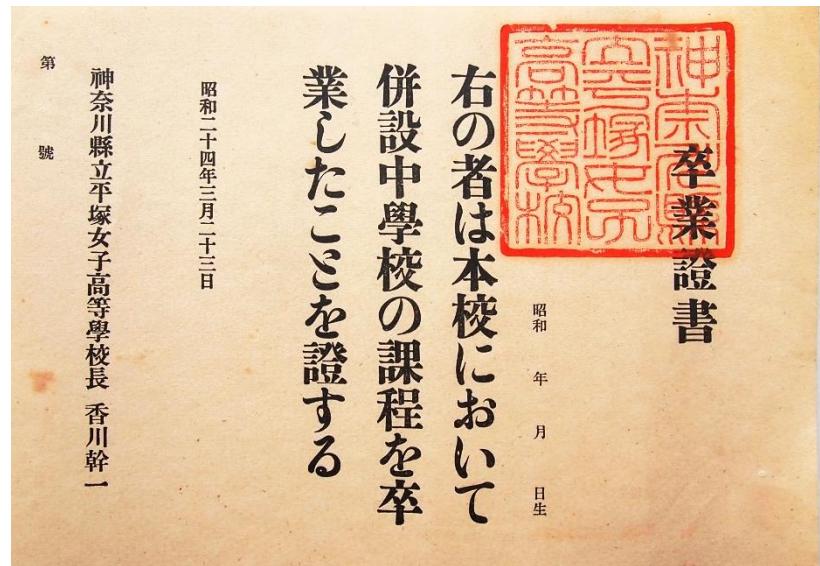
1945～1972  
資料編（下）

神奈川県教育委員会

# 神奈川県教育史

1945～1972

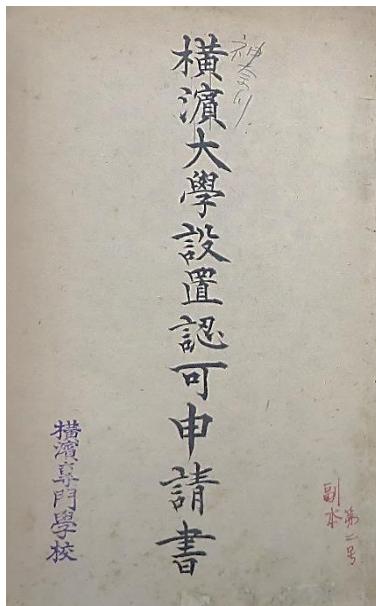
資料編（下）



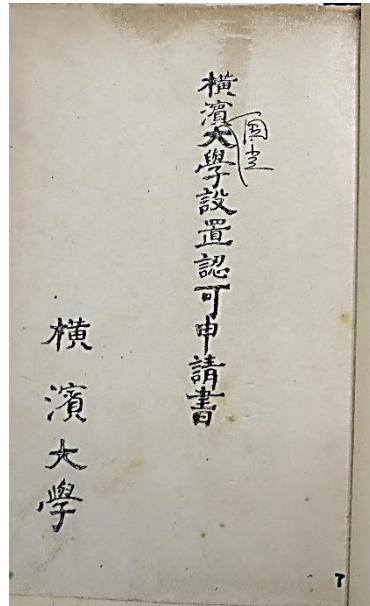
「神奈川県立平塚女子高等学校併設中学校卒業証書」

(1949年、神奈川県立平塚江南高等学校所蔵)

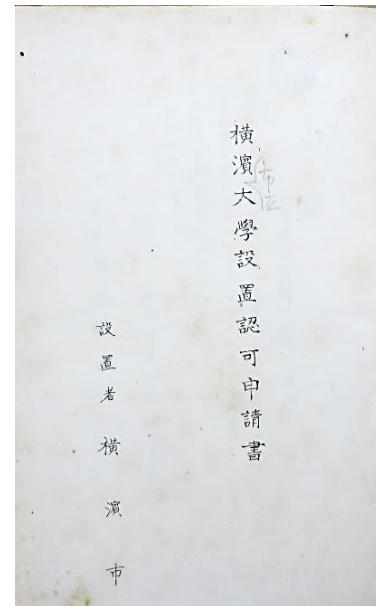
1945～1947年に入学した高等女学校の生徒は、新制高等学校が設けられたことにより、併設中学校の課程での卒業となった。



神奈川大学



横浜国立大学

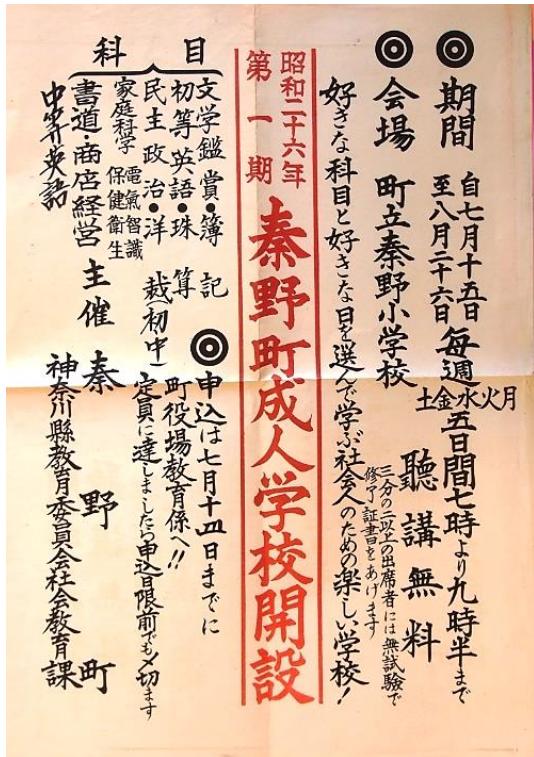


横浜市立大学

### 3つの「横浜大学」

(1949年、国立公文書館所蔵)

1949年発足に向けて文部省に提出された新制大学3校の設置認可申請書の表紙。私立の横浜専門学校を母体とする横浜大学は神奈川大学、官立の横浜工業専門学校・横浜経済専門学校・神奈川師範学校・神奈川青年師範学校を母体とする横浜大学は横浜国立大学、市立の横浜医科大学を母体とする横浜大学は横浜市立大学として認可された。



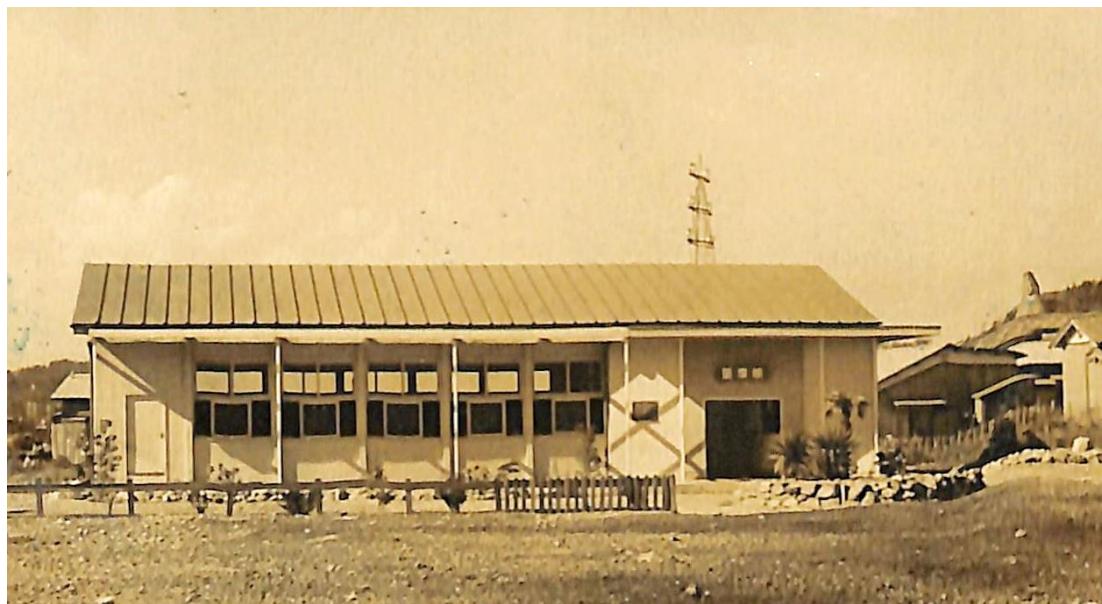
昭和26年第1期秦野町成人学校開設（チラシ）  
(1951年、神奈川県立公文書館所蔵)

1949年に社会教育法が公布され、成人の学習活動が推進された。



神奈川県立上溝幼稚園昭和29年度遊戯会  
(1991年発行 上溝幼稚園41年史『もみじの詩』  
掲載)

県立幼稚園は、第一女子（現 横浜平沼）、平塚女子（現 平塚江南）、上溝女子（現 上溝）の3県立高等学校の敷地内に、生徒の実習の場として、さらに幼稚園教育の普及振興を図る目的で設置された。



鎌倉市立大船中学校図書館全景  
(1954年発行『学校図書館研究概要』掲載)

1948年7月に図書室が設置されたが、1952年8月に焼失した。1953年10月に建てられた新しい図書館は、市内で初めての独立した学校図書館であった。



### 学校給食

(1955年発行『昭和29年度 教育年報』掲載)  
1954年に施行された学校給食法により、県内の多くの小学校で実施され、栄養の改善、健康の増進等が図られた。



### 「円周走」神奈川県立平塚盲学校

(1954年、神奈川県広報課撮影 神奈川県立公文書館所蔵)

児童・生徒は、地面に固定された杭にかけられたワイヤーを持って円を描くように走ることによって、伴走者がいなくても、全力で走る体験ができる。この実技は、現在でも行われている。

### 先生と生徒と父兄の会

(1955年発行『昭和29年度 教育年報』掲載)

戦後、文部省は民主化の一つとしてP.T.A.の結成を奨励し、1950年までには全国のほとんどの小学校・中学校・高等学校で結成された。

組織の名称は各学校で定めた。この写真では、子どもたちも集会に参加している。





## 二部授業の状況

(1955年発行『昭和29年度 教育年報』掲載)

児童数の急激な増加に伴い、教室数が不足したため、午前と午後に分けた二部授業が行われた。

教室の外では、子どもたちが午後の授業の開始を待っている。



「みんなの力で立派な国体を」  
(リーフレット)

(1955年、真鶴町教育委員会所蔵)  
1955年、夏季(9月22日～9月26日)に  
3競技、秋季(10月30日～11月3日)に  
28競技が神奈川県内の各地で行われ、  
全国から18,046名が参加した。

## 「風雪に耐えて半世紀」

足柄上郡山北町立川村小学校高松分校

(2006年発行『開校五十周年記念誌』掲載)

分校ができるまでは、途中一軒の人家もない5～6キロの坂道を通学していた。小学校低学年が通学するのは困難であり、分校設立が待ち望まれていた。開校当初はグラウンドは狭く、鉄棒が1基あるのみだったが、清涼な山の風に乗ってオルガンの音が響き、子どもの歓声がこだまする分校の開設は高松地区の開拓の幕開けを象徴するものであった。

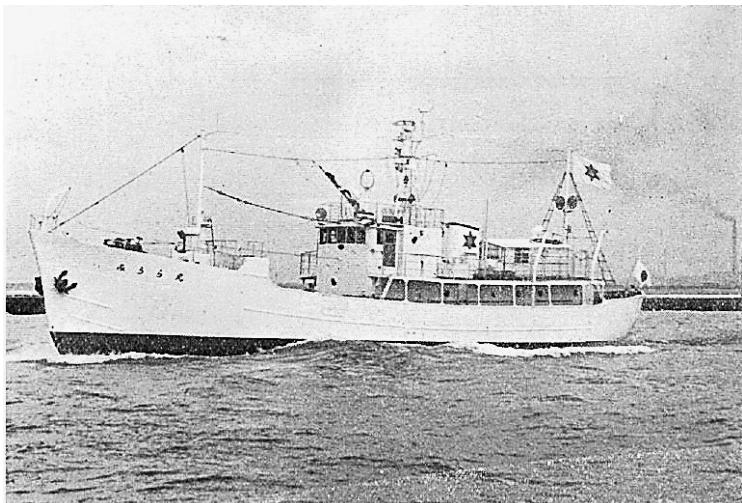
1956年開校し、2010年3月に閉校した。



神奈川県立三崎水産高等学校実習船  
「みうら丸」

(1957年発行『昭和31年度 教育年報』掲載)

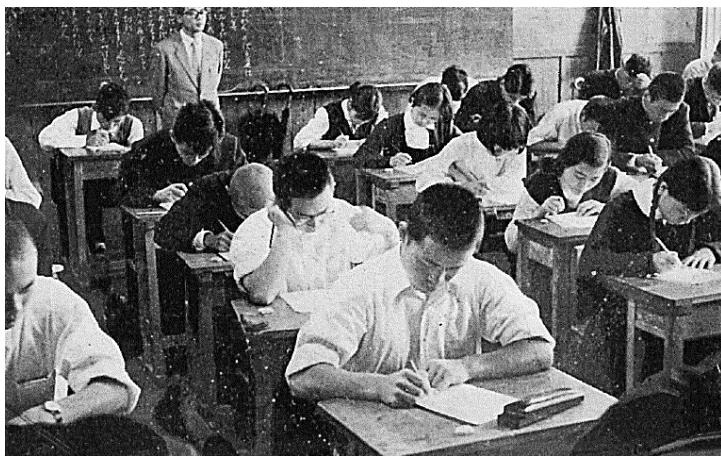
「神奈川丸」に代わる実習船として、1956年に起工、1957年3月に竣工した。当時最新式の装備を有し、乗船実習を通じて、次代の水産業を担う後継者の育成を目指した。



学校植林 足柄上郡松田町立寄中学校  
(1957年発行『昭和31年度 教育年報』掲載)

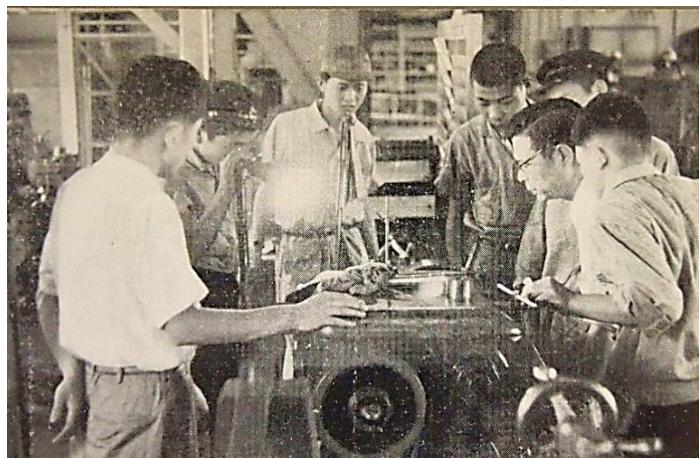
昭和29年度には、12校の参加を得て、約35町歩の植林が行われた。参加学校では、植付とその後の管理の仕事を通して、山林資源の愛護思想の普及、公共福祉に対する寄与、林政ならびに教育効果を大にすべく、学校経営上経済的に寄与すべく努力している。

寄中学校は、寄小学校とともに、1955年度の学校林優良で表彰されている。(1955年発行『昭和29年度 教育年報』より)



全国学力調査 神奈川県立平塚江南高校  
(1959年発行『昭和33年度 教育年報』掲載)

1956年度から始められた全国学力調査は、「小学校・中学校・高等学校の学力の実態を全国的な規模においてとらえ、学習指導および教育条件の整備・改善に役立て、基礎資料を作成すること」を目的として、66年度まで実施された。



### 青年学級の機械実習

(1960年発行『昭和34年度 教育年報』掲載)  
青年学級は、勤労に従事している青年や、これから従事しようとする青年に対して、職業や家事に関する知識・技能を習得させ、一般的教養を向上させることを目的として開設された。



### 工業教育実験校の神奈川県立神奈川工業高校での「自動車制御装置」実習風景

(1960年発行『昭和34年度 教育年報』掲載)  
県教育委員会が高等学校教育の向上と指導の一助として実験学校を委託し、学校では研究発表並びに資料の提供を行った。



### へき地サービス中の県立図書館ブックモービル「さがみの号」

(1960年発行『昭和34年度 教育年報』掲載)

移動図書館車「さがみの号」は、図書館を利用しにくい地域の人々のために、1959年1月から業務を開始した。



神奈川県立横浜幼稚園の保育室風景

(1963年)

(1990年発行 横浜幼稚園41年史『時の標』掲載)  
50名前後の幼児が一部屋で過ごした。年長年少混ざったクラスになり、年長に話をしていると年少も聞いていた。



安部幼稚園入園式

(1965年、横浜市港南図書館提供  
横浜市立図書館デジタルアーカイブ『都市横浜の記憶』掲載)

1965年創立。自然とのふれあいを大事にする保育を行う幼稚園としてスタートし、現在は学校法人安部幼稚園となっている。



神奈川県立博物館

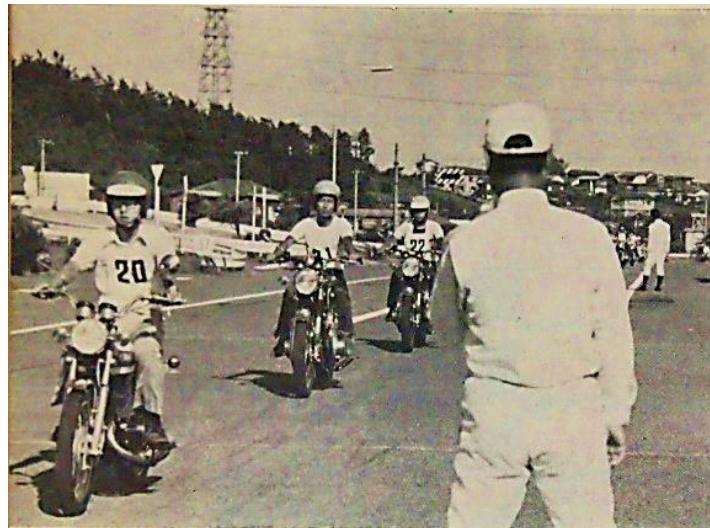
(1968年発行『昭和41年度 教育年報』掲載)

郷土の文化財や地学、生物に関する資料等幅広く展示した"総合博物館"が開館された。



神奈川大学「体育館での学生大会」(1968年5月)

(神奈川大学資料編纂室所蔵 2009年発行 創立80周年記念誌『神奈川大学80年のあゆみ』掲載)  
1960年代後半、多くの大学でマスプロ授業や管理体制強化に反対する学生運動が活発化した。



高等学校生徒二輪車の正しい運転教室

(1971年発行『教委時報第187号』掲載)

自動二輪車乗車中の事故が増加したため、その対策の一環として、交通安全指導の充実が図られた。

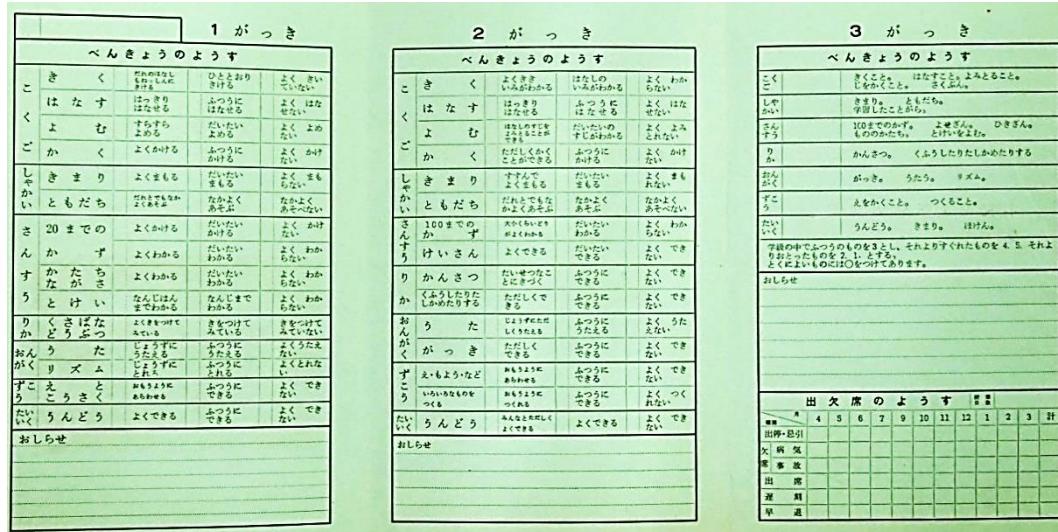
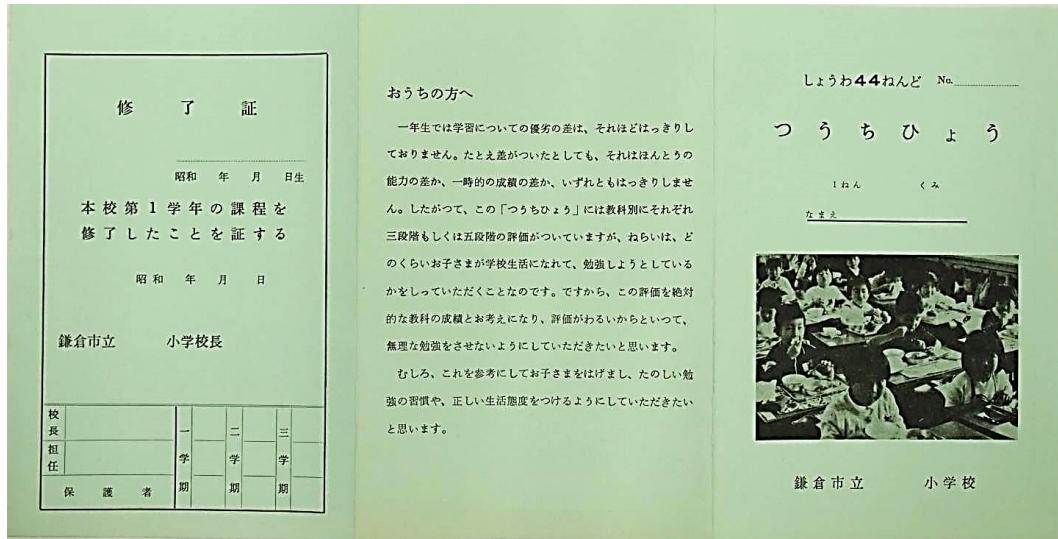
### 「おかあさんと子どものための交通安全」 (チラシ)

(1969年、相模原市立公文書館所蔵)  
自動車普及に伴う交通事故の急増を受けて、県内  
各地で交通安全運動が実施された。

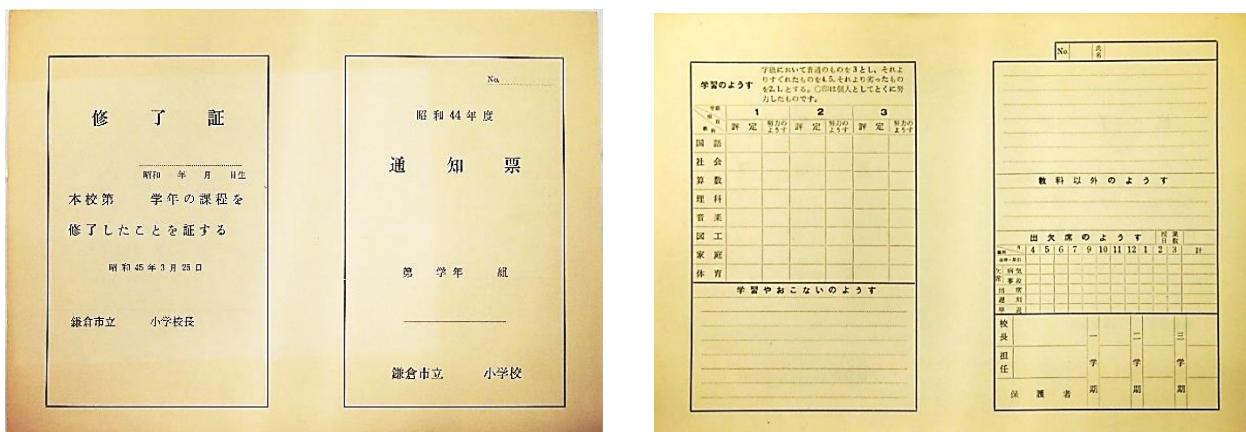
鎌倉市立小学校の通知票  
(1970年、鎌倉市教育センター所蔵)

1969年度の通知票。1年生は3段階の文字表記から選び、他学年は5段階の数字を表記する。当時、通知票の改訂が論議され、新しい多様な通知票が導入された。

1年生用の通知票



他学年の通知票





### 光をくまなく 一前進する心身障害児対策一

(1971年発行『昭和44年度 教育年報』掲載)

全国に先がけて本県が実施した不就学児の訪問教育制度。心身障害等の理由で就学したくとも登校が困難な在宅児への学習支援を行った。

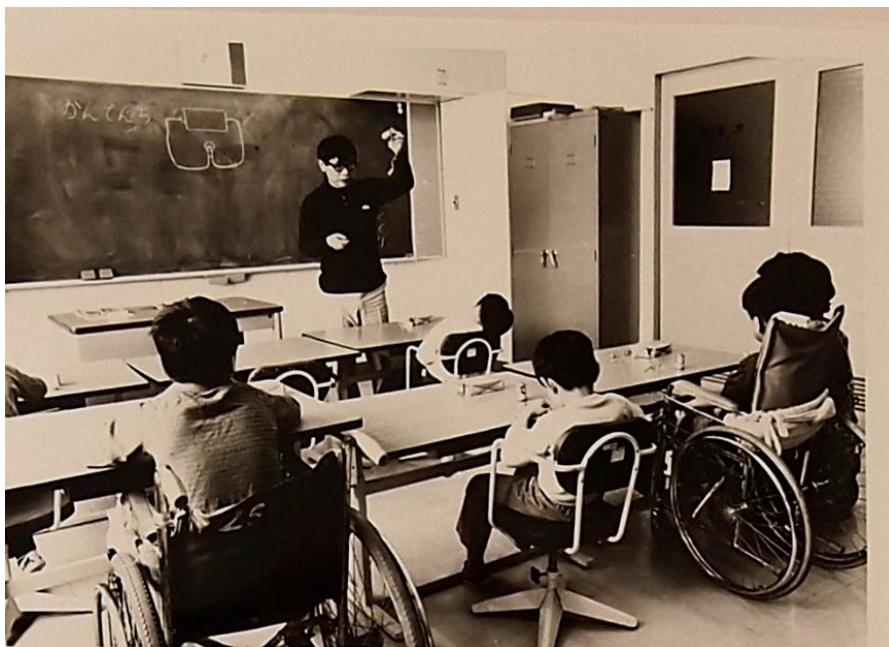


### コンピューターを導入

神奈川県立小田原城東高校

(1972年発行『昭和45年度 教育年報』掲載)

情報処理教育を推進するため、小田原城東高校商業科に電子計算機（FACOM230-10）が導入された。



### 神奈川県立ゆうかり養護学校の理科の授業風景

(1973年、神奈川県広報課撮影 神奈川県立公文書館所蔵)

肢体不自由児が肢体不自由児施設の県立ゆうかり園に入院しながら学習した。